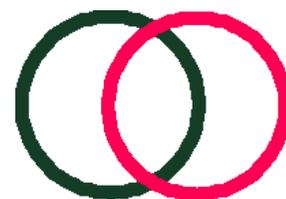


リユースforきつず 最終報告書



sopa.jp

想いをつむぎ、社会をつくる

アジェンダ

取り組み概要

活動実績

課題

今後の展開案

リユースで、こどもたちにやさしい未来を

リユースforきっずは、
「サステナブルな環境づくり」に貢献しながら、
こどもたちの「モノを大切に作る気持ち」を育てていくことを
めざす新しいかたちの社会貢献事業です。

行政、企業、NPO、そして、地域の方々の力で誕生した
この活動は多くの皆さんの協力なくしては持続することはできません。

ぜひごいっしょに、ごみを減らして、
こどもたちの笑顔を増やしていきましょう！

リユースforきっず代表
NPO法人sopa.jp理事長

小田るい



リユースforきつずの仕組み：全体像

企業で不要になったPCや、個人でいらなくなった本を寄付し、子ども達にPC・タブレットをプレゼント。“モノを大切にする気持ち”や“ICTを使ったコミュニケーション”を楽しく学べるプログラム機会を同時に提供します



いらなくなったPCで社会貢献する



いらなくなった本で社会貢献する

ICT教育



環境教育

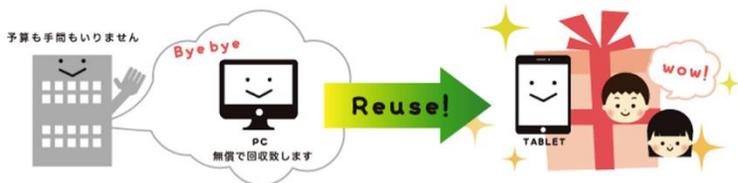


こどもたちに教育プログラムを贈る

リユースforきっずの仕組み：by PC で社会貢献

リユースforきっず by PC は、PCを10台以上寄付することで、子どもたちに教育プログラムを贈ることができます。50台以上寄付頂いた場合は、プログラムを要望にあわせ企画することも可能です。

リユース for きっずby PC で社会貢献する



リユースパートナー



ポイント 1

予算も手間もかけずに、こども用プログラムの企画・実行をすることができる！

ポイント 2

プログラムの企画は柔軟に対応可能！

例えば…

- 社内で活用！従業員の家族向けイベントとして開催できる！
- 御社 CSR のこども向けプログラムとして活用できる！
- つきあいのある学校や施設などへプログラムを贈ることができる！

ポイント 3

情報セキュリティ対策万全！

不要 PC は何年前のものでも大丈夫！

「株式会社パシフィックネット」（中古 OA 機器買取および販売）が不要PCの回収・データ消去を万全のセキュリティ体制で行うので安心！リユースできないものは素材としてリサイクル。

リユースforきっずの仕組み：by BOOKで社会貢献

リユースforきっず by BOOKは、いらない本5冊以上から寄付することで、子どもたちにプログラムを贈ることができます。電話1本でご自宅まで本を回収に伺い、買取金額を全額寄付することができます。

リユース for きっずby BOOK で社会貢献する



ポイント 1

5冊以上あれば、子どもたちへ支援ができる！
寄付いただく本は、子ども向けに限らずどんな本でもOK!

ポイント 2

電話1本でご自宅まで回収！DVDでもOK!
寄付できる本（DVD）が5冊以上あれば、ご自宅まで回収！
（株式会社バリューブックス「チャリボン」TEL：0120-826-295）

ポイント 3

買取金額は全額寄付！寄付金額は10日以内にご連絡。
寄付いただいた本の買取金額は、全額寄付金として活用。
寄付金額は集荷後10日以内にメールまたは書面にてご連絡。
寄付を受けた子どもたちの様子は当HP（活動実績）をご覧ください！！

リユースパートナー

VALLE BOOKS
whole sale books and recycle books company.

リユースforきつずの仕組み：子どもに教育プログラムを贈る

タブレットをただプレゼントするだけではなく、安全にたたく、そして何より楽しく使う方法を学びます。また、タブレットがご寄付（リユース）によって今ここにあることを伝えてながら教育プログラムを実践しています。

ICT教育



「動物ものまねクイズ！タブレットでクイズ番組をつくろう！」と題して、人とタブレットのコミュニケーションの違いを学ぶ。また、こどもたちが動画・写真を取り合い、個々の“よさ”について発見したりなど、タブレットを通したから分かる人とICTのコミュニケーションの取り方を学び、ICTとの良い付き合い方について考える機会をつくる。

環境教育



タブレットがパソコンをリユースしてできたものなので、3R（リデュース・リユース・リサイクル）を学び、モノを大切にしていくことの大切さをワークショップを交えながら学ぶ。また、身の回りの環境や自然を感じながらタブレットで撮影。写真や動画で今までの振り返りや周りの人に“よさ”を広げる際に使用したりなどプログラムは多彩。

リユースforきつずの仕組み：教育プログラムの講師紹介

豊富な経験・実績のある講師が、子ども向けの環境教育・ICT教育を担当しています。



一般社団法人森の演出家協会代表

土屋 一昭 (つちや かずあき) 氏

東京都青梅市の御岳にある築150年の古民家を拠点に「森の演出家」の第一人者としての事業を開始。古き良き日本文化と自然体験をおこなうサービスを提供してきた。自然と共に生きる彼の姿は話題となり、現在はTVや雑誌などのメディア出演や大使館・自治体・学校現場などからの依頼で全国各地を飛び回っている。2013年より「森育」「食育」「人育」をテーマにした森の演出家事業の本格的な準備に入り、その動向に各界から注目を集めている。資格/自然観察指導員、森林セラピーソサエティガイド認定、上級救急救命、メディックファーストエイド、調理師免許、火おこしマイスター

<http://www.tokynomountain.jp/>



俳優・演出家

神山一郎 (かみやま いちろう) 氏

玉川大学文学部芸術学科演劇分野卒業。以降、舞台演出・出演を中心に活動。俳優のためのワークショップ「演技集団オムニプレゼンス」を8年前より主催。参加メンバーとともに数々の舞台、映像作品を製作し、それらの演出を手掛ける。社会福祉士の資格を持ち、障がい者、児童、高齢者向けの演技ワークショップも開催。

Art Of Communication～コミュニケーションをデザインする～

<http://artofgroup.wix.com/home>



環境教育指導者・情報教育指導者

松田 悠 (まつだ はるか) 氏

3年間、環境教育NPOで小中学校の環境学習をコーディネートし、企業や専門家と年間100回以上授業を行う。その後フリーに。現在は「環境」「教育」「地域活性」をテーマに、企業のCSRの環境学習をコーディネートしたり、環境学習教材の制作にも携わる。また青梅市と協働で「おうめこどもエコクラブ」を主宰。クラブ会員は約50名在籍しており、定期的にこどもが身近な自然・エコを学び考える機会をつくっている。工学部を卒業時に情報教育教員免許取得。環境同様に、情報教育の必要性を感じており、学校現場で活躍中。

<http://umekou.net/ecoclub>

アジェンダ

取り組み概要

活動実績

課題

今後の展開案

(参考) 助成期間中の実行計画

広報ツールと協賛企業開拓に力を入れ、実際に協賛先から回収し教育プログラム提供を行う一連の流れを実施する計画でした。

6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
コンテンツ開発		コンテンツのブラッシュアップ						
						広報ツール作成		
協賛企業の開拓		協賛企業の開拓(営業に時間を要することが判明 & 広報ツールが準備できず紹介ベースで営業)						
						不要PC回収(匿名条件でA社よりPC回収 ※PCネットさんご紹介)		継続営業(公開OK先)
					活動報告書 テンプレート作成		活動報告書の作成	
支援先の開拓							A社+αの協賛で実施	
						タブレット提供 / プログラム提供 (PCネットさん自身の協賛)		
						支援先の満足度確認済		買取・支援先定着の可視化

サマリー

宝印刷様の協賛により教育プログラムの実施ができリユースforきっずのモデルを実現することができました。また、環境省の助成金により、コンテンツの充実化と、ウェブサイト、チラシ、ポスターなどの広報ツールが用意できました

宝印刷様協賛による教育プログラムの実現

コンテンツの充実化 (環境教育/ICT教育)

広報ツールの用意



平成27年度 環境省使用済製品リユースモデル事業に採択されました。

お申し込み・お問い合わせ
プログラムを受けたい
教育関係・団体の方へ

リユースで社会貢献したい
法人の方へ

リユースで社会貢献したい
一般の方へ

広げよう！
リユースと教育がつながる
あたらしい社会貢献のかたち

コンセプト | プロジェクト概要 | こどもたちへ贈る教育プログラム | 活動実績 | よくある質問 | パートナー企業・団体



リユースでこどもたちにやさしい未来を—



平成27年度環境省使用済製品リユースモデル事業採択
数量 1800人入 価格 0円 送料別 送料別

あなたの家でこどもたちの学びを支援しませんか？

リユース for きっず

1 教材のPC 教材を再利用してPCに
環境省認定の教材を「教育プラットフォーム」上に
お申し込みが簡単で送料が無料です！

2 教材も手帳もけずらずに、こども用プログラムの
企画・実行ができる！

3 こども用のプログラムの企画は柔軟に対応可能！
教材は1冊あたり100円として
●教材にPCやタブレットがなくてもOK
●教材にPCやタブレットがなくてもOK
●教材にPCやタブレットがなくてもOK

4 贈り物やキッズリサイクル対応可能！
不要PCの回収、データ消去を依頼できます！
不要のPCは廃棄用のものでも大丈夫！！

平成27年度環境省使用済製品リユースモデル事業採択
数量 1800人入 価格 0円 送料別 送料別

あなたの家でこどもたちの学びを支援しませんか？

リユース for きっず
by Book

5冊以上から寄付が可能です！
寄付書(本は、子ども向けに贈らざる本でも構いません。
DVDもOK) 寄付される本が送料も10冊以上など
大量の寄付は電話にてお問い合わせください。

電話一本でご自宅までお取り！
tel : 0120-826-295
受付時間 月～土 10:00～21:00 日 10:00～17:00
http://www.value-books.jp/

提案先	概要	回収するもの	教育プログラム	ステータス
宝印刷	IR・CSR等の印刷を手がけており、環境や教育への意識が高く、PCネットさんの紹介もありスピーディに協賛頂けた	サーバー 30台 携帯30台	環境学習 「五感体験・体感！自然塾」	実施済
大手製造業A社	IT部門担当者の方が前向きに協力頂いたものの、会社名の公表をする場合に各部署への調整が必要なため、匿名を条件に30台寄付頂いた	ノートパソコン 300台	環境学習 「玩改ワークショップ」	進行中
専門学校B	担当者はリユースを推進したいが、上長が廃棄のまままでよいと思っているため、『リユースforきっず』で専門学生にも貢献できるプログラムができればリユースが推進できると興味をもって頂いた	未定	ICT学習	提案中
行政関連団体C	昨年度に団体主催のイベントで教育プログラムを実施したことで実績を評価頂き、本年度では本や情報機器のリユース活動など更に一步踏み込んだ連携の形を検討して頂いている	未定	環境学習	提案中
サービス業D社	主力事業の付加価値強化の一環としてリユースforきっずにご興味を頂いた。運営する店舗での本のリユース、ネットワークを活かした協賛企業探しを積極的に行っている	未定	ICT学習	提案中
地方自治体E	慢性的な財政難で環境教育やタブレット導入などの予算が削減されている状況のため、リユースforきっずにご興味を頂いている	未定	環境学習	提案中
大手通販小売業F社	既にリユースを行っているが社会貢献活動として、リユースforきっずにご興味を頂いている	未定		提案中

三川公園サニースクール「五感体験・体感！自然塾」by 宝印刷 2016.2.6



青梅市ままにこっと：ファミリーで楽しめるmamaフェス
「玩改（がんかい）ワークショップ」 by 大手製造業 2016.3.6



当日参加OK!
2Fの
第1会議室で開催

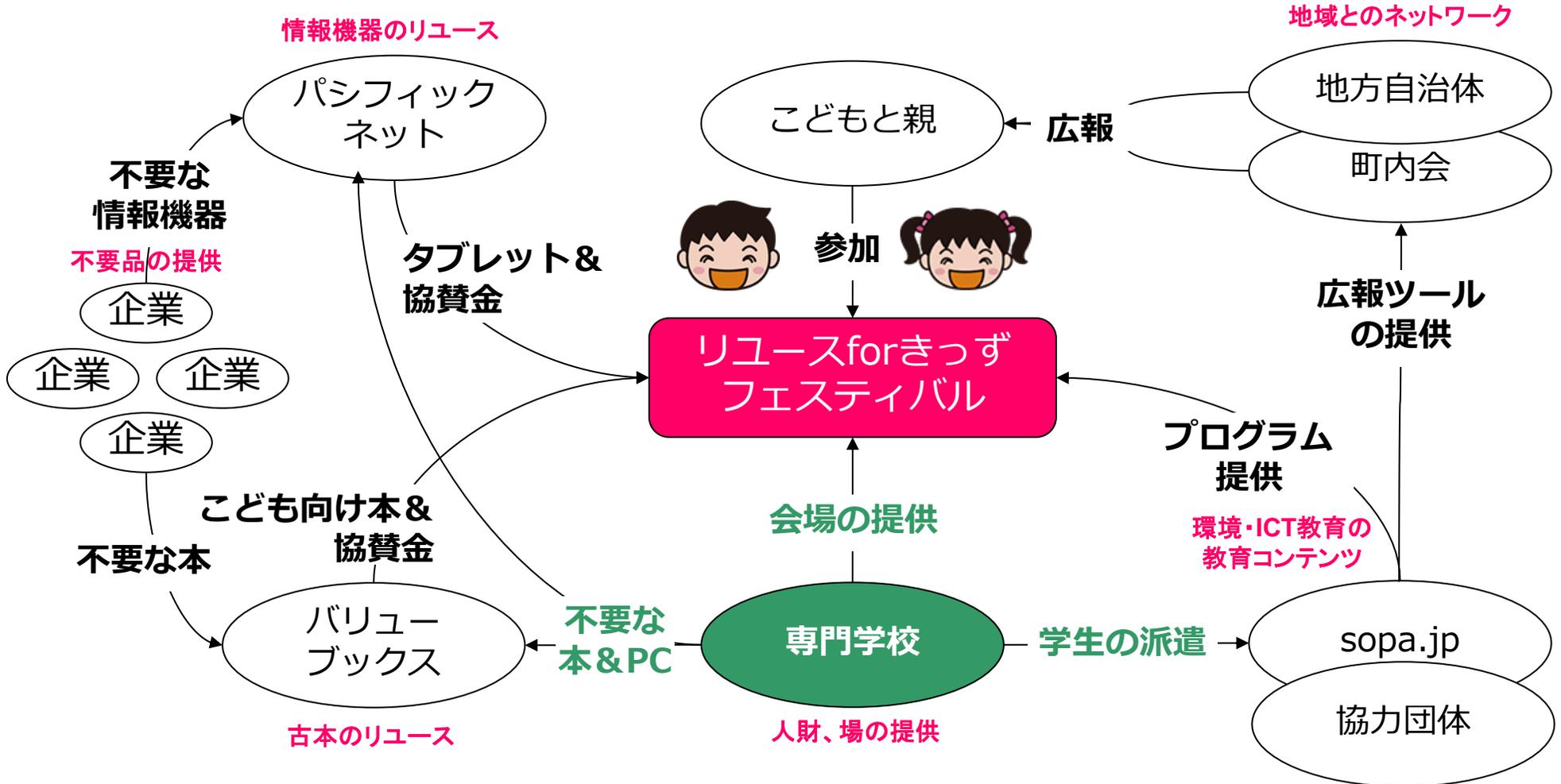
ワークショップ

ワークショップ作家による
がんかい
玩改
ワークショップ
おもちゃを改造して(玩改)
マイバックを作ろう!



専門学校様への提案スキーム：全体像

地元企業から募った不要なPCや古本をリユースする事で協賛金を集め、貴校の学生たちとNPOが共同で教育プログラムを企画し、町内会や行政などのネットワークを活かして、より多くの子どもたちが来て楽しめるようにします



ある専門学校様への提案スキーム：展開ステップ

まずは無理のない形で、企業協賛を集めキャンパスでイベントを開催し、徐々に学校関係者を巻き込みながらフェスティバルを実現していきます

場の提供を行い
まずはイベントを開催

校内行事の一環として
イベントを開催

学内の
公式行事化

概要

SOPAで主催するイベントをキャンパスにて開催する

地元企業や、貴校でリユース活動を推進しイベントを実施する

学校行事、教育活動の一環としてプロジェクトを公式行事化する

貴校の 行う事

- 場の提供

- 協力的な学部との連携
- 不要古本・PCの積極的な回収

- プロジェクト予算化

RFK 事務局 サポート

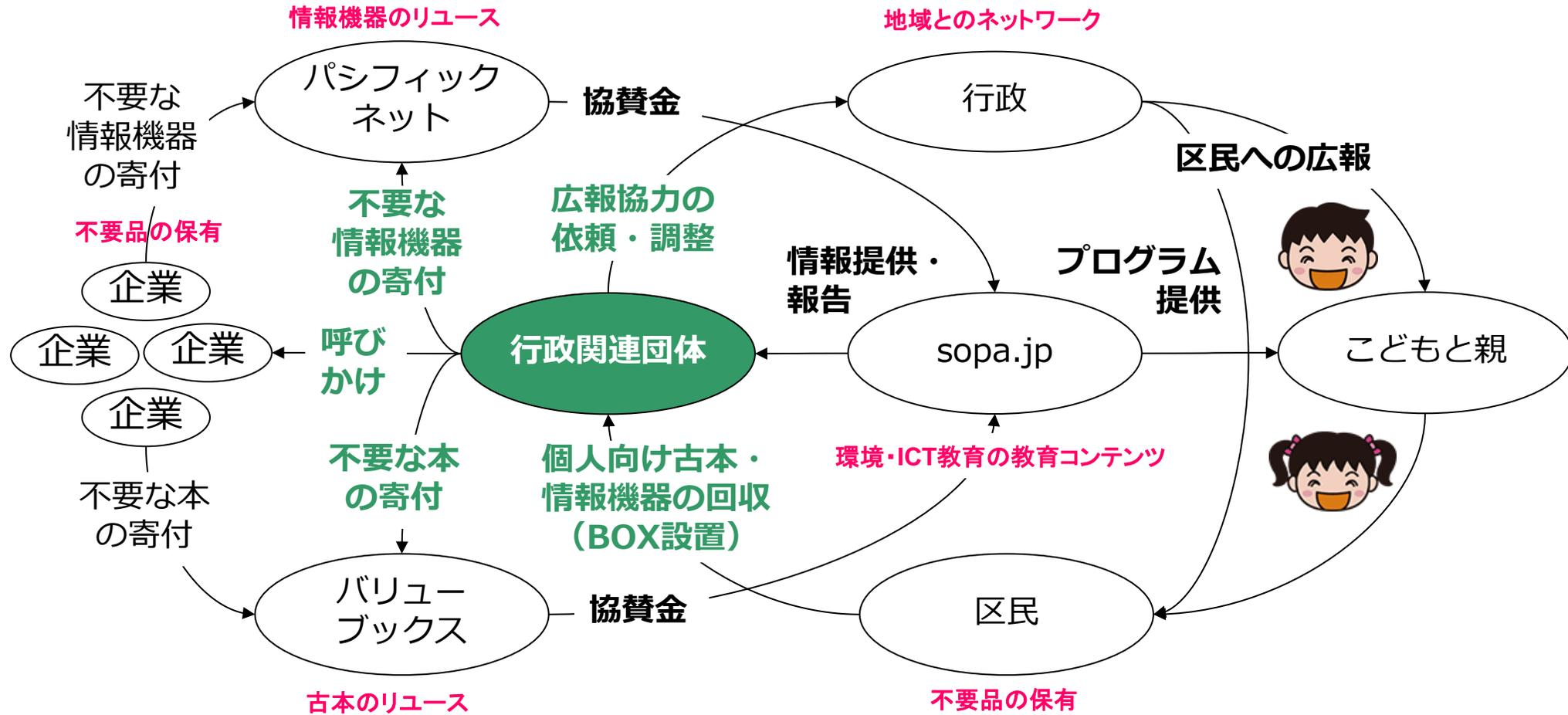
- 協賛企業の紹介
- タブレットや教育プログラム提供

- 学生スタッフの指導
- 行政・企業の巻き込み

- 事務局マネジメント
- 教育プログラムの企画・運営

行政関連団体様への提案スキーム

地元企業への呼びかけや個人向け回収BOXを設置頂くことで、個人や企業から不要なPC・古本を寄付頂き、子どもたちに教育プログラムを提供



アジェンダ

取り組み概要

活動実績

課題

今後の展開案

検討課題

● 協賛企業を増やす

- パシフィックネットさん経由の案件は今後も見込まれる
⇒宝印刷様や大手メーカー様のご紹介
- 新たなリレーション構築をどう築くか
 - ◆ 単なる広告を投入しても反応は薄い
⇒広告の実施。結果、反応ゼロ
 - ◆ 支援を希望する団体から紹介で広がる可能性は高い
⇒保育大手企業の方から問い合わせ中。先方取引先との連携の可能性も。
 - ◆ 地域内での協賛呼びかけに可能性あり
⇒専門学校様の地域貢献として地元企業・行政と連携して実施する案件
⇒行政の環境分野の担当者や外郭団体との連携

● 協賛金を安定的に確保する

- リユースforきつず by BOOKの活用
 - ◆ 企業内で社員に対して不要な本の寄付を募る
 - ◆ 支援先のリユース活動の一環として不要な本の寄付を募る
- リユースforきつず by PCの改善
 - ◆ 地域限定での個人向け不要PC回収
 - ◆ 協賛企業の規模が大きく回収PCの品質が高い先を増やす

検討課題

・ 事務局の固定費を低減・賄う仕組みをつくる

– 業務プロセスを標準化・簡素化し、事務局運営費を削減する

– 行政からの運営委託費をもらう

- ◆ 地域連携モデルを構築した後、リユース普及や地域活性化の取り組みを行政が推進していくための事務局運営を担う

アジェンダ

取り組み内容

活動実績

課題

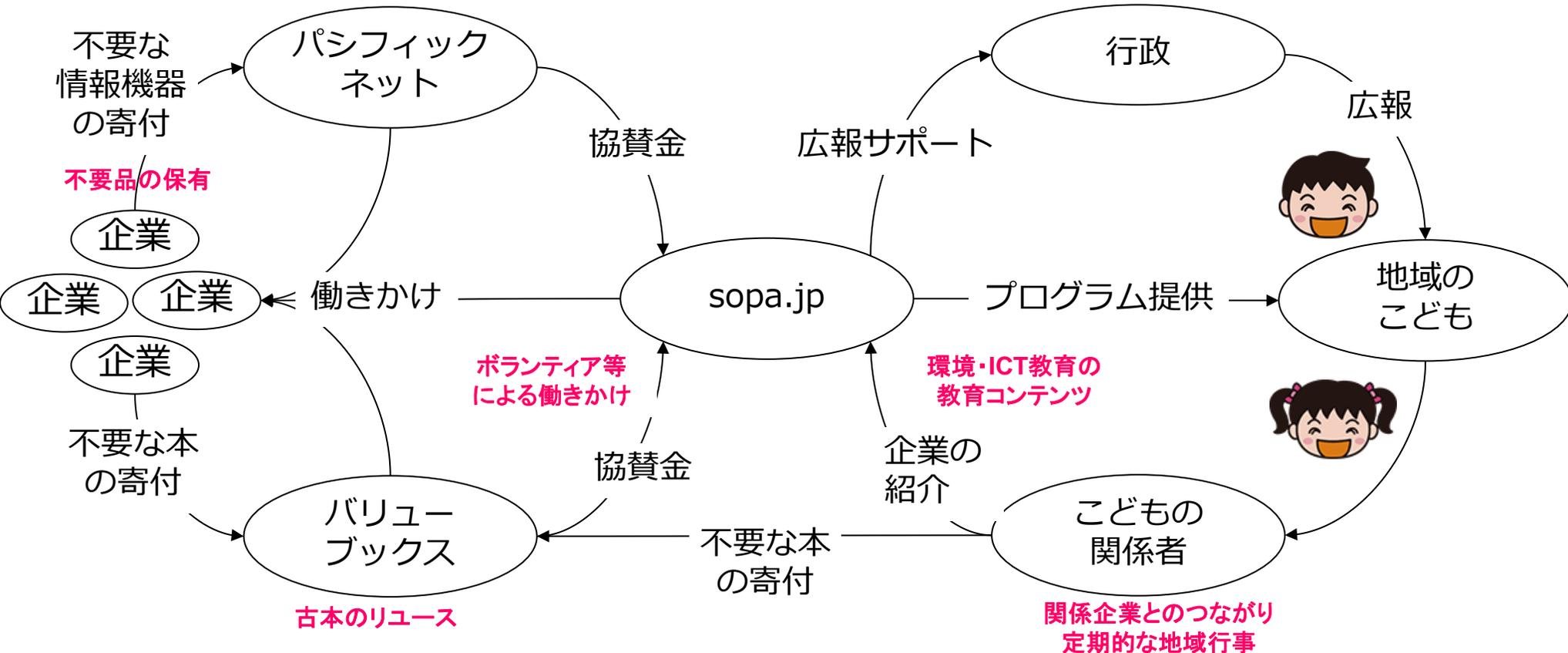
今後の展開案

リユースforきつずの地域連携モデル

リユース企業とsopa.jpで連携し一般企業のリユースを促進しその一部を寄付してもらいます。そして、行政に広報をお願いしながら地域のこどもたちへ教育プログラムを贈ります。更に、おとなも巻き込み地域に活動を広げていきます。

情報機器のリユース

地域とのネットワーク



リユースforきつずの仕組みを地域単位で導入

ステークホルダーのメリットと関わり方

各ステークホルダーが関わるメリットと現業の延長線上で取り組める仕組みを整えています。

リユース 企業

メリット

収益化の鍵をにぎる仕入れの安定化

関わり方

営業活動の一環として関わり、仕入に応じた協賛金をだす

協賛企業

メリット

不要なPCの廃棄コストを削減し、更に、CSR活動もできる

関わり方

実質的な手間は、社内調整と打ち合わせ程度

地域の こども

メリット

環境学習やICT教育を、楽しみながら学べる

関わり方

イベントを契機に継続的に活動する。

こどもの 関係者

メリット

リユースを広めることで、プログラムを定期的開催できる

関わり方

地域行事の一貫として取り組める

行政

メリット

リユース活動の普及と地域コミュニティの活性化が図れる

関わり方

活動自体が現業そのもの

sopa.jp

メリット

行政・企業・NPOのあたらしい社会貢献の形を実現

関わり方

案件ごとの企業フォローと、プログラムの実施・報告

持続可能な取り組みを実現するための収益モデル

持続的な取り組みのためには、唯一の固定費である事務局費用を低減しつつ、案件当たりの協賛金を確保し、実施案件を着実に増やしていくことが必要

事業特性

回収サイクルが長く案件発生頻度が少ない

収益モデル

持続可能な取り組み実現のためには費用の変動費化が必要不可欠

実施
案件数

40
[件/年]

右記から、
逆算した必
要案件数

案件当たり
協賛金

7万
[円/件]

リユース企
業からの協
賛金

変動費

プログラム
実施原価

3.5万
[円/件]

講師代と
コーディネ
イト関連費

固定費

広報費

ゼロ
[円/年間]

行政連携の
ため無償で
広報が可能

固定費

企業対応

ゼロ
[円/年間]

PCネットさ
ん、sopa.jp
の本業を通
じた社会貢
献

固定費

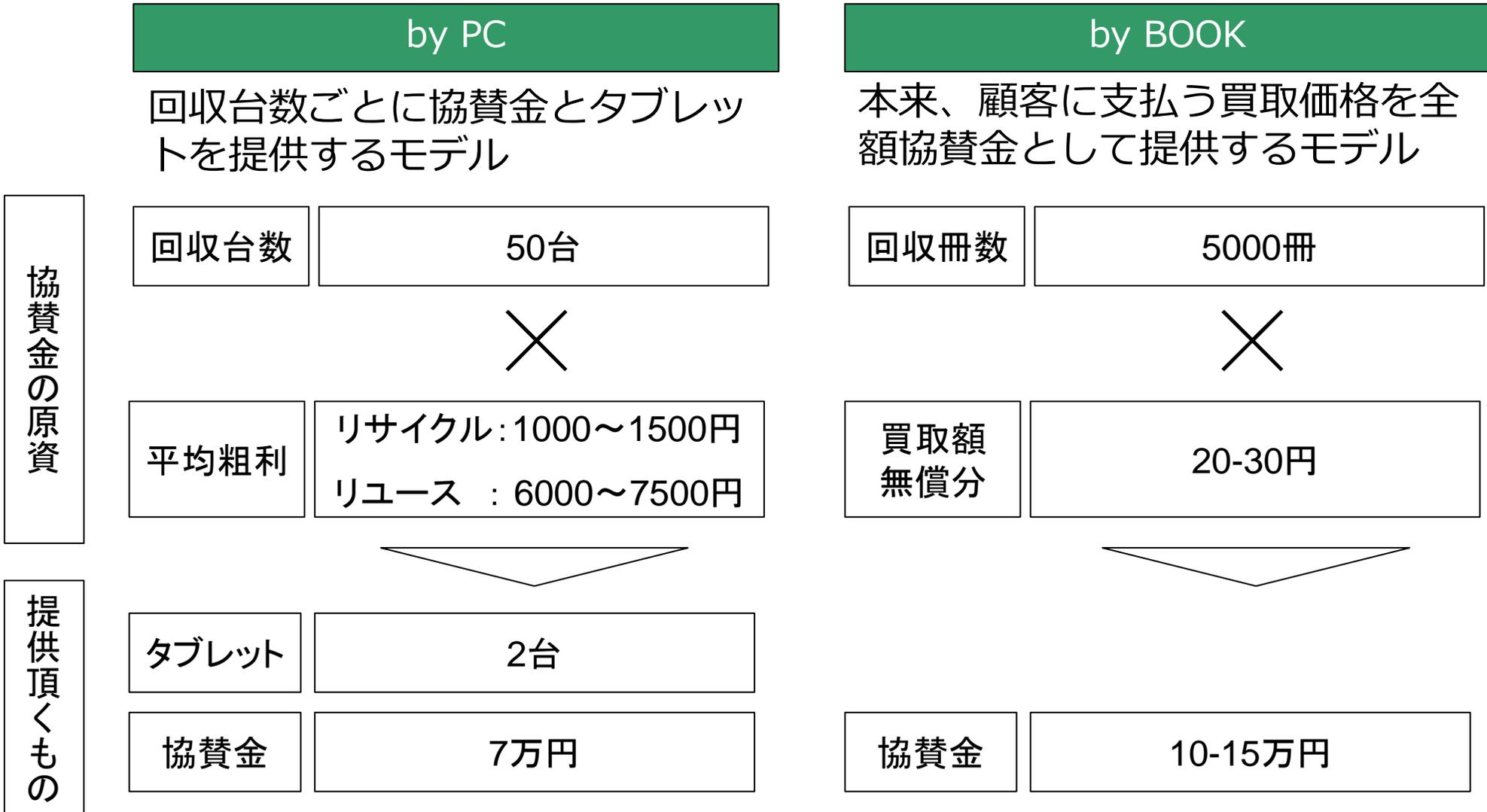
その他
事務局費

140万
[円/年間]

ステークホ
ルダーとの
関係構築と
会計・事業
報告

持続可能な取り組みを実現するための収益モデル：リユース企業

PCの場合もほんの場合も協業するリユース企業にとっても持続可能な協業スキームを構築している



項目		収支		ステークホルダーの関わり方		
売上	PC	7万円/案件	変動費	パシフィックネット	<ul style="list-style-type: none"> PC50台寄付ごとに協賛金(7万円)と、タブレット2台を頂きプログラムを実施 買取金額分の協賛金を頂く 	
	本			バリューボックス		
コスト	原価	講師料	2万円/案件	変動費	<ul style="list-style-type: none"> sopa.jp sopa.jp 	
		コーディネイト	1.5万円/案件			
	販管費	イベント広報費	0円	ゼロ	行政	<ul style="list-style-type: none"> 学校や公報でのイベント告知 本業の一環として活動 CSV支援事業とあわせて活動 有志による案件紹介の促進
		企業対応			パシフィックネット	
		事務局費用			140万円/年	

‘16年にリユースforきつずの地域連携モデルを構築し’ 17年に定着、’18年に横展開を図る。同時に、企業への継続的な関係構築で不要PCのリユースを促進

	2016年	2017年	2018年
展開案	<ul style="list-style-type: none"> 企業への継続的な関係構築 地域連携モデルトライアル 	<ul style="list-style-type: none"> 企業への継続的な関係構築 地域連携モデル定着 支援先のリユース活動普及 	<ul style="list-style-type: none"> 企業への継続的な関係構築 地域連携モデルの横展開 支援先のリユース対象品拡張の検討
SROI	<ul style="list-style-type: none"> プログラム提供人数 <ul style="list-style-type: none"> ✓ 実施数：5件 ✓ 開催人数：100人 リユース及び寄付件数 <ul style="list-style-type: none"> ✓ PC：1,000台のうち、120台を寄付 ✓ 本：25人500冊 	<ul style="list-style-type: none"> プログラム提供人数 <ul style="list-style-type: none"> ✓ 実施数：12件 ✓ 開催人数：240人 リユース及び寄付件数 <ul style="list-style-type: none"> ✓ PC：10,000台のうち、330台を寄付 ✓ 本：100人3,000冊 	<ul style="list-style-type: none"> プログラム提供人数 <ul style="list-style-type: none"> ✓ 実施数：25件 ✓ 開催人数：500人 リユース及び寄付件数 <ul style="list-style-type: none"> ✓ PC：20,000台のうち、600台を寄付 ✓ 本：500人15,000冊
KPI	<ul style="list-style-type: none"> 協賛企業のリピート率：なし 協賛企業のby BOOK実施 <ul style="list-style-type: none"> ✓ キャンペーン開催率：50% 支援先タブレット活用率:90% 支援先のby BOOK実施 <ul style="list-style-type: none"> ✓ キャンペーン開催率：80% 	<ul style="list-style-type: none"> 協賛企業のリピート率：50% 協賛企業のby BOOK実施 <ul style="list-style-type: none"> ✓ キャンペーン開催率：50% 支援先タブレット活用率:90% 支援先のby BOOK実施 <ul style="list-style-type: none"> ✓ キャンペーン開催率：80% 	<ul style="list-style-type: none"> 協賛企業のリピート率：80% 協賛企業のby BOOK実施 <ul style="list-style-type: none"> ✓ キャンペーン開催率：50% 支援先タブレット活用率:90% 支援先のby BOOK実施 <ul style="list-style-type: none"> ✓ キャンペーン開催率：80%

「リユース for きっず」報告書

リユース for きっず代表
NPO 法人 sopa. jp 理事長
小田るい

1. 事業の目的

1.1 モデル事業の背景にある課題

(環境面について)

＝地球環境の持続可能性が危ぶまれている＝

世界的な人口爆発と経済発展により、地球環境を破壊しながら、資源を使い続ける暮らしには限界がきています。今のままでは近い将来、資源は枯渇してしまうかもしれません。

＝循環型社会実現におけるリユースの重要性＝

日本においても、平成 12 年、国、地方公共団体、事業者や国民一人ひとりが責任を持ち、循環型社会をつくるために「循環型社会形成推進基本法」が制定されました。その中で、循環資源の循環的な利用及び処分の基本原則（第 7 条）として、廃棄やリサイクルよりも、まずリユースを優先する事が掲げられています。

＝リユース促進上の課題＝

リユースを促進することで事業を成り立たせている「リユース企業」がありますが、一般消費者や企業が「リユース」を行うインセンティブが弱いために、十分な回収（仕入れ）ができていない事が 1 つの課題になっています。

(子どもの教育)

＝20 年後の世界＝

子どもたちがおとなになった時の世界は、地球環境の持続可能性を維持していくための制度・ルールがあらゆる生活の中で当たり前になり、人工知能やロボットなど更なる発展により ICT 技術と真正面から向き合う必要に迫られます。

＝子どもたちにとっての環境教育や ICT 教育の必要性＝

子どもたちの学力の基礎を築くためには、学校での教育は欠かせません。それに加えて、環境や情報など新しい分野の知見を早い時期に体感できることが、将来を担う子どもたちには求められています。

＝学校教育における課題＝

教育の現場でも環境や情報教育の必要性は認識されているものの、ICT 教育・環境教育の専門性の高さ、導入費用、手間がかかることなどがハードルとなっているのが現状です。

1.2 モデル事業で達成したいこと

私たちは、リユースと子どもの教育という2つの課題を解決するために、『リユース for きっず』をはじめました。

『リユース for きっず』は、リユース企業であるパシフィックネットさんやバリューブックスさんに協賛頂き、企業のいらなくなった情報機器のリユースや個人のいらなくなった本のリユースを推進しながら、子どもたちを日々みている教育関係・団体へタブレットを寄付し、環境や ICT を楽しく学び続けられるプログラムを無償で提供する新しい社会貢献のかたちです。

1.3 モデル事業で検証したこと

今回の検証にあたっては、新しい取り組みである『リユース for きっず』が、企業や個人に受け入れられるかどうか、特に企業における『リユース for きっず』の導入可能性について検証しました。



(三川公園サニースクールの環境学習の様子：子どもたちと土屋講師の集合写真)

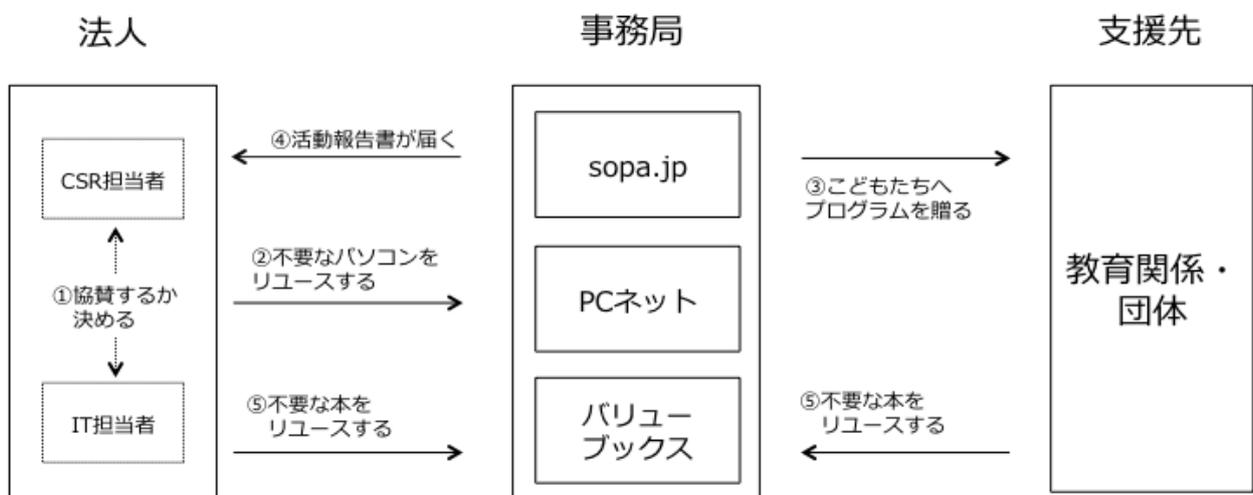
2. 事業内容

企業から不要になったパソコン等を 10 台から回収するごとに教育機関に対してリユースパソコンやタブレットを提供するとともに環境や ICT を楽しく学べるプログラムを提供しました。

企業における情報機器のリユースの促進と子どもに対する環境学習の推進、子どもを通じた地域住民のリユース促進を図ります。

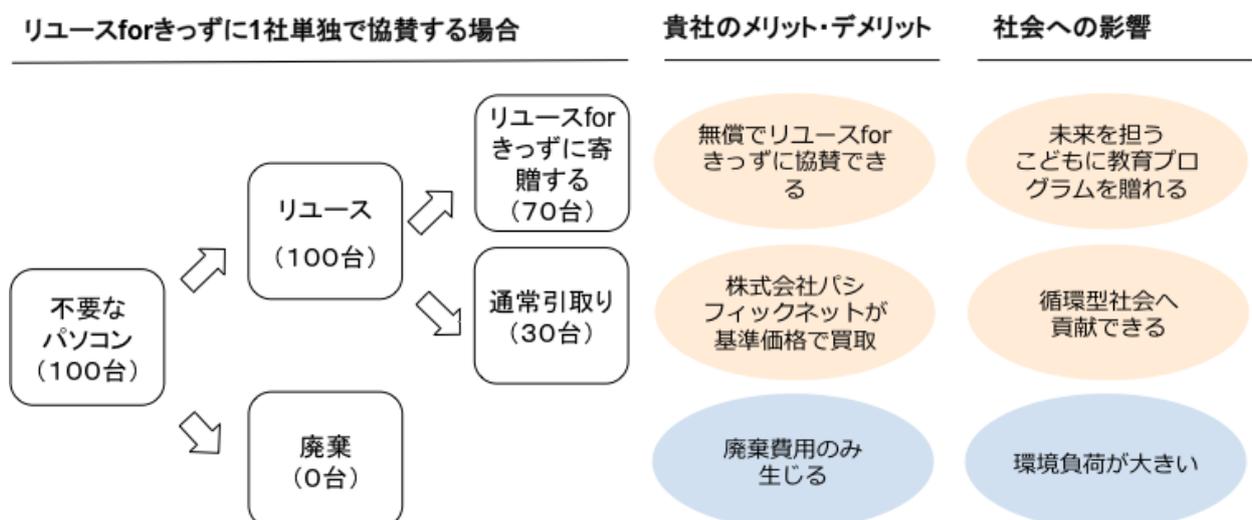
また、教育機関からは不要になったパソコンや本を回収し、リユース業者に売却することで、それを活動資金として継続的にプログラムを提供します。

2.2 事業のスキーム



①協賛するかを決める

不要なパソコンの処分方法として、環境に配慮でき処分コストも少ないリユースをし、更にその一部を寄贈することで、子どもたちに教育プログラムを贈ることができます。



ポイント①：寄付プランについて

リユースする情報機器のうち 10 台か 50 台を寄贈頂くことで、リユース for きっずに無償で協賛することができます。

		プランA(10台)	プランB(50台)
リユースする	不要PCの台数	任意	任意
	不要PCの回収		無償
	不要PCのデータ消去		無償
	データ消去証明書		有償
	寄贈する台数	10台	50台
子どもたちへ贈るプログラム	PC・タブレット提供	5社で2台分	1社で2台分
	プログラム提供方法	5社で1つのプログラム	1社で1つのプログラム
	プログラム実施先	指定不可	自由に指定可能
	プログラム内容	指定不可	既存プログラムから選択
	プログラム実施時期	開催日時の設定不可	開催日時を自由に設定
	活動報告書	事務局の用意したテンプレートを利用	ロゴ・配色などのカスタマイズが可能

ポイント②：社内調整時の事務局のサポート

ITとCSRなど部門を越えて社内調整が必要な際は、事務局メンバーが説明のサポートをいたしますので、気兼ねなくご相談ください。



②不要なパソコンをリユースする

不要なパソコンは、パシフィックネットが万全な情報セキュリティ体制のもと、リサイクル&リユースを行います。なお、回収からデータ消去までは無償で実施しますが、証明書発行のみ有償となります。

<p>無償</p> <p>使用済PCの回収</p>	<p>無償</p> <p>使用済PCのデータ消去</p>	<p>別途有償</p> <p>証明書発行</p>
<p>使用済パソコンは、通常のものと同梱のものを一括で引き取りトラックにてテクニカルセンターまで配送</p>	<p>パシフィックネットのテクニカルセンターで万全なセキュリティ体制のもと、リユース&リサイクル</p>	<p>必要な企業様には有償でデータ消去証明書を発行</p>
		

ポイント：万全のセキュリティ体制でのリユース&リサイクル

パシフィックネットのテクニカルセンターでは、万全な情報セキュリティ体制下でリサイクル&リユースを行っています。

● 万全のセキュリティ体制下でのリユース&リサイクル



パシフィックネットのテクニカルセンター

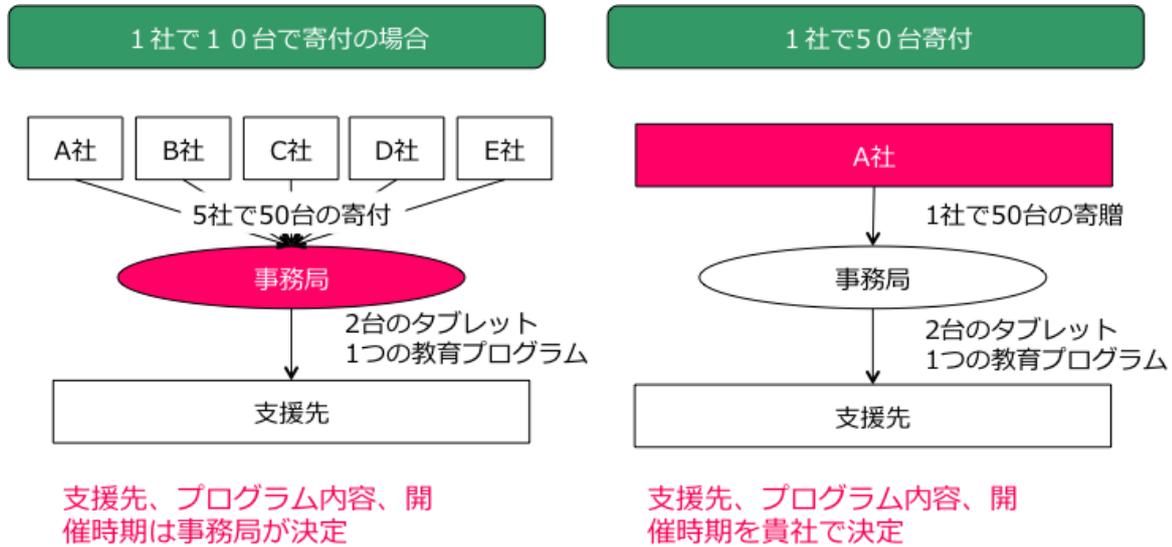
 <p>入退の管理</p> <p>外部からの侵入を防ぐため、入退室時にはカードキーによる認証を行っています。ISMSに準拠した管理体制を全支店で徹底して行っています。</p>	 <p>媒体管理体制</p> <p>書類やメディアはすべて鍵付きのキャビネットに保管。廃棄の際にはシュレッター処理を行い、情報機器からのデータ流出を防止しています。</p>
 <p>防犯カメラ</p> <p>情報機器が保管される入荷場所から作業場まで、カメラを設置。外部から侵入はもちろん内部からもデータ漏洩を行えない環境づくりに努めています。</p>	 <p>社内体制</p> <p>セキュリティ対策室を設置し、維持・運用・改善・監査を徹底。従業員教育、内部監査等フレームワークに準じた体制を敷いています。</p>

プライバシーマーク制度
 適用規格 JISQ15001:2006準拠
 認証登録番号 第10590075号
 認証取得日 平成19年9月18日

bsi ISMS 国際的に整合性のとれた情報セキュリティマネジメントに対する第三者適合性評価制度です。認証登録番号:IS506516

③子どもたちへプログラムを贈る

1社で10台寄付いただいた場合は5社合同開催で、1社で50台寄付いただいた場合は1社単独開催で、子どもたちへ2台のタブレットと1つの教育プログラムを贈ります



④活動報告書が届く

寄付いただいた情報機器をリユースし、子ども向け教育プログラムを実施した後、活動報告書を電子データにてお送りします。なお、オリジナルのデザイン、動画制作、印刷物など別途ご要望がある場合は有償での対応となります。



⑤不要な本をリユースする

リユース for キッズ by BOOKは、いらぬ本5冊以上から寄付する事で、子どもたちにプロ具ラムを贈ることができます。電話1本でご自宅まで本を回収に伺い、買取金額を全額寄付することができます。



2.3 リユースの対象品

情報機器（パソコン、タブレット、携帯、サーバー等）
本

2.4 リユース品の回収、支援先

（企業からのリユース品の回収）

- 宝印刷株式会社
- 大手製造業 A 社
- 専門学校 B 社（提案中）
- 行政関連団体 C（提案中）
- サービス業 D 社（提案中）
- 地方自治体 E（提案中）
- 大手通販小売業 F 社（提案中）

（支援先）

- 港区 芝の家 16.01.20 24名
環境教育「ゆかたから手ぬぐいをつくろう」
- 海老名市 三川公園サニースクール 16.02.6 25名
環境教育「五感体験・体感！自然塾」
- 青梅市教育委員会（社会教育課）おうめ放課後こども教室タヤケランド 16.02.17 30名
「タブレットで動物ものまねクイズ」

2.5 実施スケジュール

事業開始後の計画通り、広報ツールと協賛企業開拓に力を入れ、実際に協賛先から回収し教育プログラム提供を行う一連の流れを実施できました。

(参考) 事業開始時のアクションプラン

6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	
コンテンツ開発		コンテンツのブラッシュアップ							
		広報ツール作成(予算調整のためずれた)							
協賛企業の開拓		協賛企業の開拓(営業に時間を要することが判明&広報ツールが準備できず紹介ベースで営業)							
		不要PC回収(匿名条件でA社よりPC回収 ※PCネットさんご紹介)					継続営業(公開OK先)		
						活動報告書テンプレート作成		活動報告書の作成	
支援先の開拓						タブレット提供 / プログラム提供(PCネットさん自身の協賛)		A社+αの協賛で実施	
						支援先の満足度確認済		買取・支援先定着の可視化	

2.6 事業の効果・課題の評価方法

- ・ リユースされた品目別件数の把握
- ・ リユースできなかった品目別件数の把握
- ・ 協業先リユース企業における買取件数及び金額
- ・ プログラムに関与した協賛企業及び支援先における意識調査

3. 実施体制

sopa.jp メンバーである小田るい、板谷友香里がプロジェクト全体を取りまとめながら、松田・神山・土屋がプログラムの開発・講師を、松田・ワクモワークス・四ツ谷・渡辺さとしがクリエイティブ制作を、協業企業であるパシフィックネットの杉様、バリューブックスの廣瀬様がリユース対応を担当しました。

○小田るい sofa.jp 理事長
リユース for きっず代表

○板谷友香里 sofa.jp 事務局長
リユース for きっず事務局

○松田遥 フリーランサー
リユース for きっず事務局補助。
ウェブデザインを中心としたクリエイティブのディレクション。
環境学習のコンテンツ開発、講師のコーディネート及び講師。

○四ツ谷奈々 デザイナー
ロゴ作成、チラシ、リーフレットの作成。

○ワクモワークス ウェブデザイン
リユース for きっずのコンテンツ検討。ウェブサイトの制作。

○渡辺さとし コピーライター
リユース for きっずのコピーライティング。

○土屋一昭 一般社団法人森の演出家協会代表
環境教育における自然体験教室のプログラムの開発及び講師。

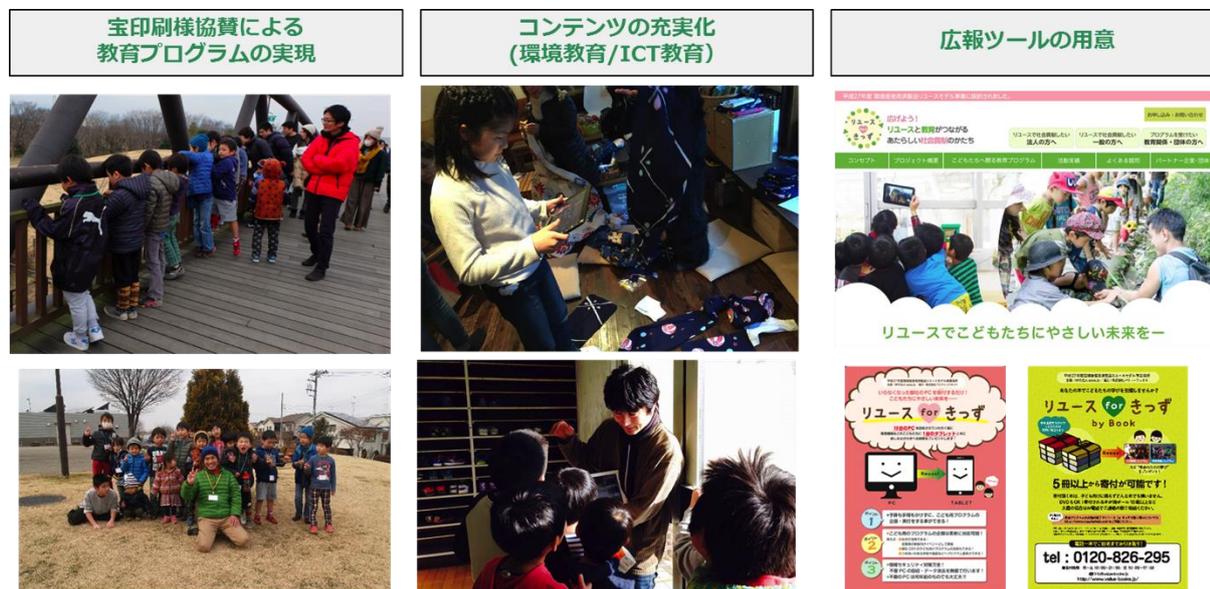
○神山一郎 俳優・演出家
ICT 教育における ICT を活用したコミュニケーションのプログラムの開発及び講師。

○杉研也 (株)パシフィックネット取締役
企業向け情報機器を中心としたリユースに関わるアドバイザー。
協業スキームの検討及び意思決定。プロジェクト推進にあたり社内の営業担当への対応。

○廣瀬聡 バリューブックス(株) チャリボン担当者
リユース for きっずとチャリ本の連携における各種調整。

4. 事業の成果

事前計画通り成果を実現できました。具体的には、宝印刷様の協賛により教育プログラムの実施ができリユース for きっずのモデルを実現することができました。また、支援先にも好評な教育プログラムと、広報ツールを一式用意することができました。



4.1 主な活動成果の紹介

4.1.1 企業からのリユース品の寄付

○宝印刷株式会社（実施済）

IR・CSR等の印刷を手がけており、環境や教育への意識が高く、PCネットさんの紹介もありスピーディに協賛頂けた

- ・リユースされた品目別件数の把握
携帯：30台
サーバー：30台
- ・リユースできなかった品目別件数の把握
今回は、とくにリユースできないものは生じなかった。
- ・協業先リユース企業での買取件数及び金額
携帯30台
- ・寄付されたもの
サーバー10台

○大手製造業 A 社（進行中）

IT 部門担当者の方が前向きに協力頂いたものの、会社名の公表をする場合に各部署への調整が必要のため、匿名を条件に 30 台寄付頂いた

- ・ リユースされた品目別件数の把握
ノートパソコン：300 台中 90 台（見込み）
- ・ リユースできなかった品目別件数の把握
ノートパソコン：300 台中 210 台程度（見込み）
- ・ 協業先リユース企業での買取件数及び金額
ノートパソコン 300 台
- ・ 寄付されたもの
ノートパソコン 30 台

○専門学校 B（提案中）

担当者はリユースを推進したいが、上長が廃棄のままでよいと思っているため、『リユース for きっず』で専門学生にも貢献できるプログラムができればリユースが推進できるとご興味頂いた

○行政関連団体 C（提案中）

昨年度に団体主催のイベントで教育プログラムを実施したことで実績を評価頂き、本年度では本や情報機器のリユース活動など更に一步踏み込んだ連携の形を検討して頂いている

○大手サービス業 D 社（提案中）

主力事業の付加価値強化の一環としてリユース for きっずにご興味を頂いた。運営する店舗での本のリユース、ネットワークを活かした協賛企業探しを積極的に行って頂いている

○行政 E（提案中）

慢性的な財政難で環境教育やタブレット導入などの予算が削減されている状況のため、リユース for きっずにご興味を頂いている

○大手通販小売業 F 社（提案中）

既にリユースを行っているが社会貢献活動として、リユース for きっずにご興味を頂いている

4.1.2 リユース品を用いた環境教育

○2016.2.6 三川公園サニースクール「五感体験・体感！自然塾」

宝印刷様がサーバー30台、携帯30台をリユースし、そのうちサーバー10台を寄付頂きました。2016年2月6日に海老名市三川公園サニースクールで「五感体験・体感！自然塾」を実施しました。総勢25名程度の子どもと親が参加してくれました。



○2016.1.20 芝の家「ゆかたから手拭いをつくろう」

2016年1月20日に環境教育のコンテンツ開発の一環として港区の芝の家で「ゆかたから手ぬぐいを作ろう！」を実施しました。総勢24名程度の子どもと地域の方が参加してくれました。



○2016.2.17 おうめ放課後子ども教室”タヤケランド”

「タブレットで動物ものまねクイズ！」

2016年2月17日にICT教育のコンテンツ開発の一環としておうめ放課後子ども教室で「タブレットで動物ものまねクイズ」を実施しました。総勢30名程度の子どもが参加してくれました。現地でのWIFI環境に左右されないプログラム設計の必要性を認識できました。

青梅市教育委員会（社会教育）おうめ放課後子ども教室「タヤケランド」@河辺小学校
「タブレットで動物ものまねクイズ！」※コンテンツ開発 2016.2.17



事業の効果・課題の評価今回は、サンプル数が少ないため定量調査ではなく、プロジェクトの提案や実施にあたり、ヒアリングなどの定性調査によって事業の効果や課題をとりまとめた。

（協賛企業について）

プロジェクト開始時期は、教育プログラムの実績が不足し、チラシやウェブサイトなどの広報ツールもなかったため、メリットよりもリスクの方を気にする企業が多かった。

事業終盤にさしかかったころから、行政・企業等で協力的な担当者が現れた。共通するのは、リユース for きっずの活動理念に賛同頂いていること。子どもの教育などへかけられる予算が限られる中で、リユース活動を行うことで、コストゼロで協賛できることにメリットを感じて頂いていると実感した。

一方で、共感頂いたメンバーが全社的な取り組みに展開する際に他部門への調整が生じることが多かった。ただし、役員レベルの方に共感頂いた際には、スピーディに物事がすすむことを実感した。他部門への調整の際には、実際の教育プログラムやリユースを実施するセンターの見学をしてもらうことで前向きな姿勢に変化しうることがわかった。

（支援先について）

無償でプログラム提供を受けられることから興味関心が非常に高く、実施後の満足度も非常に高かった。リユースタブレットについては、新品同様の品質・外観であることに驚かれていた。

(参考) 三川公園サニースクールにおける意識調査結果

保護者の方の感想

- ・楽しかったです。のんびり散歩する感覚で、子どももリラックスして参加できた様子です。
- ・充実した時間でした。1時間あっという間でした。娘も楽しんでいました。
- ・五感を意識したフィールドワークが体験できる事が良かったと思います。
- ・普段見過ごしてしまうような動植物に触れられて良かったです。
- ・講師の方もフレンドリーで子どもも楽しめていました。

(アンケートより一部抜粋)

事業者の方からの声



三川公園サニースクール
教室長 江木 隆二氏

三川公園サニースクールは、広大な芝生や恵まれた自然環境を活かし子どもの心身をはぐくむ、スポーツ、自然体験、室内での学びを融合したこれまでにないスクールです。4月開校に向けた第1回体験教室において、土屋先生の自然体験プログラム「五感体験・体感！自然塾」を一緒に体感することができ、身近にある小さな自然が子ども達にとって貴重な教材であることを改めて感じました。お陰様で、コンセプトである「太陽の下で、のびのび学ぶ」の良いスタートを切ることができたと思います。

いただいたタブレットに、これから子どもたちの成長が記録されていくことが楽しみです。ありがとうございました。

事業者の方からの声



今回、リユースforきっずの一環で、プログラムを提供して頂き、ありがとうございました。4月から本格的に開始します事業に向けて、良い機会となりました。

相模三川公園は、仕事で何度も行っているのですが、土屋先生と一緒に回る公園は今までとは全く違う景色や発見があり、とても刺激になりました。

また、参加者の子ども達も大変喜んでおり、それを見た保護者の方も満足していただけていたようでした。

頂いたタブレットにつきましても、写真やアルバム代わりに使用し、利用者の方々に喜んでもらえる様に使っていきたいと思っております。

ありがとうございました。

5. 今後の検討課題（残された課題）

● 協賛企業を増やす

- パシフィックネットさん経由の案件は今後も見込まれる
⇒宝印刷様や大手メーカー様のご紹介
- 新たなリレーション構築を築く
 - ◇ 単なる広告を投入しても反応は薄い
⇒広告の実施。結果、反応ゼロ
 - ◇ 支援を希望する団体から紹介で広がる可能性は高い
⇒保育大手企業の方から問い合わせ中。先方取引先との連携の可能性も。
 - ◇ 地域内での協賛呼びかけに可能性あり
⇒専門学校様の地域貢献として地元企業・行政と連携して実施する案件
⇒行政の環境分野の担当者や外郭団体との連携

● 協賛金を安定的に確保する

- リユース for きっず by BOOK の活用
 - ◇ 企業内で社員に対して不要な本の寄付を募る
 - ◇ 支援先のリユース活動の一環として不要な本の寄付を募る
- リユース for きっず by PC の改善
 - ◇ 地域限定での個人向け不要 PC 回収
 - ◇ 協賛企業の規模が大きく回収 PC の品質が高い先を増やす

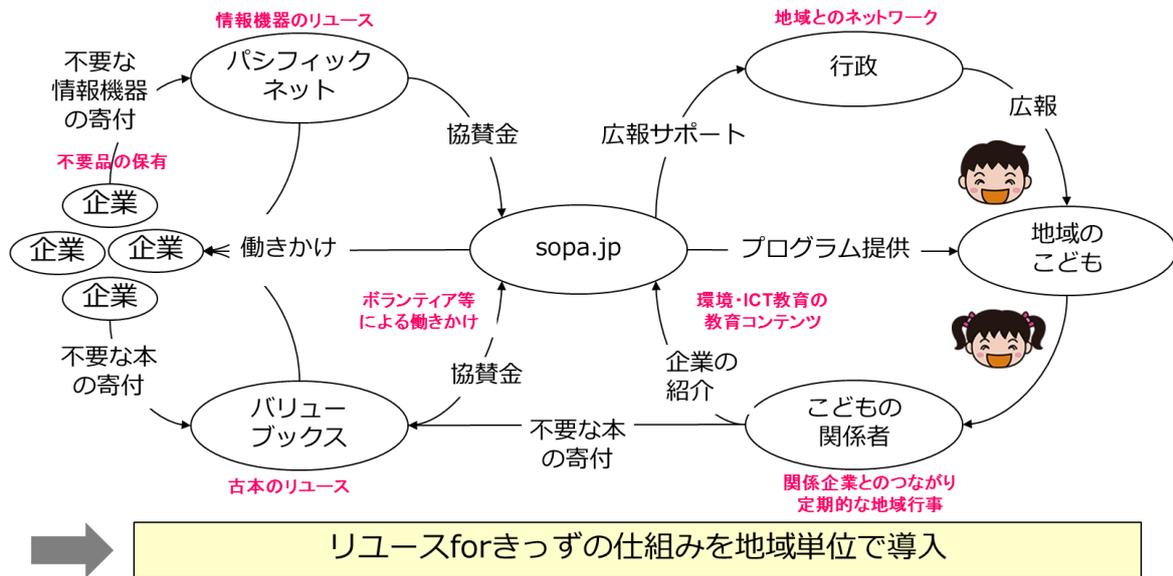
● 事務局の固定費を低減・賄う仕組みをつくる

- 業務プロセスを標準化・簡素化し、事務局運営費を削減する
- 行政からの運営委託費をもらう
地域連携モデルを構築した後、リユース普及や地域活性化の取り組みを行政が推進していくための事務局運営を担う

6. 事業終了後の展開

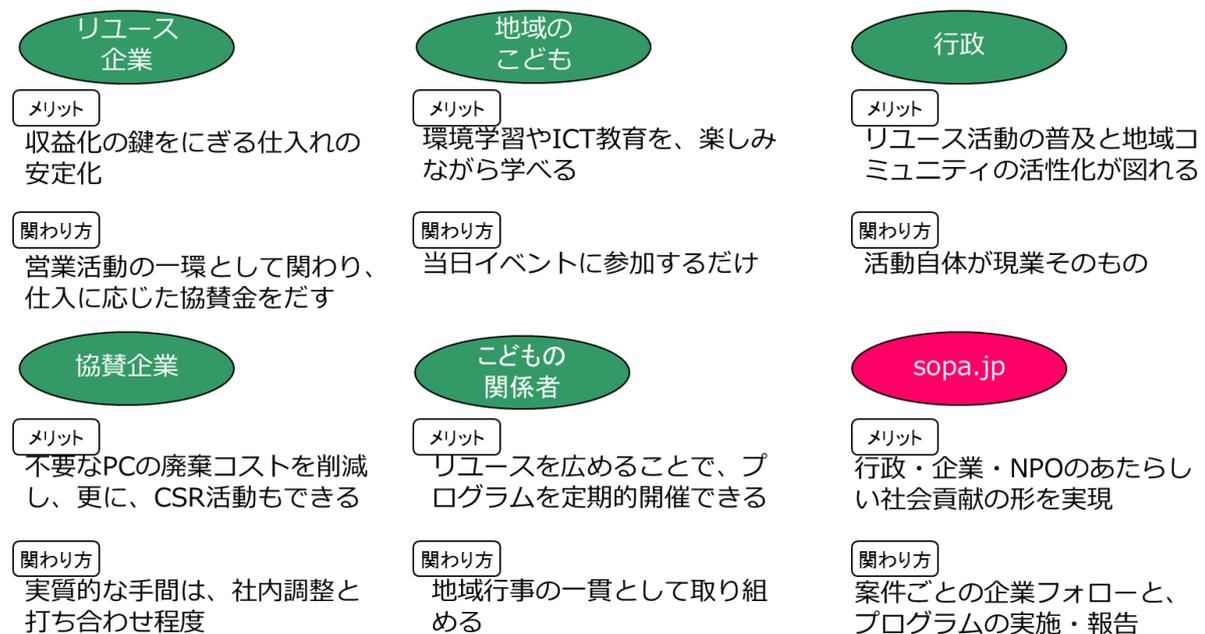
○地域連携モデルの推進

リユース企業と sopa.jp で連携し一般企業のリユースを促進しその一部を寄付してもらいます。そして、行政に広報をお願いしながら地域のこどもたちへ教育プログラムを贈ります。更に、おとも巻き込み地域に活動を拡げていきます。



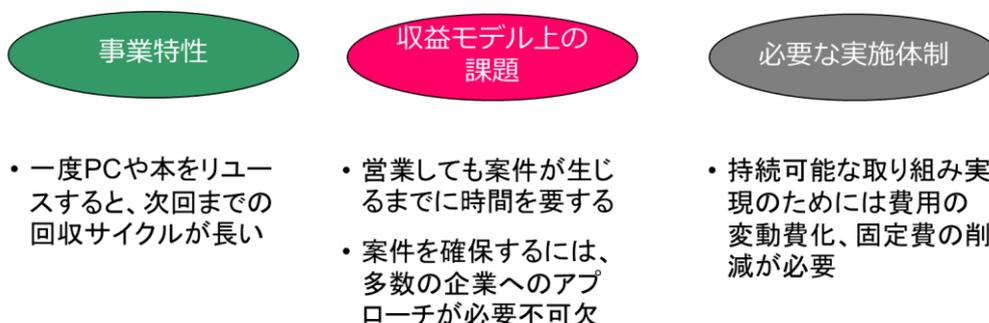
○各ステークホルダーのメリットと役割

各ステークホルダーが関わるメリットと現業の延長線上で取り組める仕組みを整えています。



○持続可能な取り組みのために必要な実施体制

本事業は、回収サイクルが長く案件発生頻度が少ないのが特徴です。そのため、収益を確保するのに時間を要してしまいます。そのため、持続可能な取り組み実現のためには費用の変動費化や固定費削減が必要不可欠になります。



○持続可能な取り組みを実現する収益モデル

(事務局の収益モデル)

今回、広報費や営業費を行政や企業と連携する事で削減し、プログラムの実施も変動費化しています。今後は、唯一の固定費である事務局費用を低減しつつ、案件当たりの協賛金を確保し、実施案件を着実に増やしていくことが課題です。



(リユース企業の収益モデル)

PCの場合もほんの場合も協業するリユース企業にとっても持続可能な協業スキームを構築しています

	by PC	by BOOK
	回収台数ごとに協賛金とタブレットを提供するモデル	本来、顧客に支払う買取価格を全額協賛金として提供するモデル
協賛金の原資	回収台数 50台	回収冊数 5000冊
	×	×
	平均粗利 リサイクル: 1000~1500円 リユース: 6000~7500円	買取額無償分 20-30円
提供頂くもの	タブレット 2台	
	協賛金 7万円	協賛金 10-15万円

○今後のマイルストーン

‘16年にリユース for きっずの地域連携モデルを構築し’17年に定着、’18年に横展開を図る。同時に、企業への継続的な関係構築で不要PCのリユースを促進。’18年度には支援先でのリユース対象商品の拡張の検討をはじめ。

	2016年	2017年	2018年
展開案	<ul style="list-style-type: none"> 企業への継続的な関係構築 地域連携モデルトライアル 	<ul style="list-style-type: none"> 企業への継続的な関係構築 地域連携モデル定着 支援先のリユース活動普及 	<ul style="list-style-type: none"> 企業への継続的な関係構築 地域連携モデルの横展開 支援先のリユース対象品拡張の検討
SROI	<ul style="list-style-type: none"> プログラム提供人数 <ul style="list-style-type: none"> ✓ 実施数: 5件 ✓ 開催人数: 100人 リユース及び寄付件数 <ul style="list-style-type: none"> ✓ PC: 1,000台のうち、120台を寄付 ✓ 本: 25人500冊 	<ul style="list-style-type: none"> プログラム提供人数 <ul style="list-style-type: none"> ✓ 実施数: 12件 ✓ 開催人数: 240人 リユース及び寄付件数 <ul style="list-style-type: none"> ✓ PC: 10,000台のうち、330台を寄付 ✓ 本: 100人3,000冊 	<ul style="list-style-type: none"> プログラム提供人数 <ul style="list-style-type: none"> ✓ 実施数: 25件 ✓ 開催人数: 500人 リユース及び寄付件数 <ul style="list-style-type: none"> ✓ PC: 20,000台のうち、600台を寄付 ✓ 本: 500人15,000冊
KPI	<ul style="list-style-type: none"> 協賛企業のリピート率: なし 協賛企業のby BOOK実施 <ul style="list-style-type: none"> ✓ キャンペーン開催率: 50% 支援先タブレット活用率: 90% 支援先のby BOOK実施 <ul style="list-style-type: none"> ✓ キャンペーン開催率: 80% 	<ul style="list-style-type: none"> 協賛企業のリピート率: 50% 協賛企業のby BOOK実施 <ul style="list-style-type: none"> ✓ キャンペーン開催率: 50% 支援先タブレット活用率: 90% 支援先のby BOOK実施 <ul style="list-style-type: none"> ✓ キャンペーン開催率: 80% 	<ul style="list-style-type: none"> 協賛企業のリピート率: 80% 協賛企業のby BOOK実施 <ul style="list-style-type: none"> ✓ キャンペーン開催率: 50% 支援先タブレット活用率: 90% 支援先のby BOOK実施 <ul style="list-style-type: none"> ✓ キャンペーン開催率: 80%

7. 参考資料

○リユース for きっずとは

企業で不要になったPCや、個人でいらなくなった本を寄付し、子ども達にPC・タブレットをプレゼント。“モノを大切に作る気持ち”や“ICTを使ったコミュニケーション”を楽しく学べるプログラム機会を同時に提供します。



子どもたちに教育プログラムを贈る

○リユース for きっず by PC の概要

リユース for きっず by PC は、PC を 10 台以上寄付することで、子どもたちに教育プログラムを贈ることができます。30 台以上寄付頂いた場合は、プログラムを要望にあわせ企画することも可能です。

リユース for きっず by PC で社会貢献する



リユースパートナー



ポイント 1

予算も手間もかけずに、子ども用プログラムの企画・実行をすることができます！

ポイント 2

プログラムの企画は柔軟に対応可能！

例えば…

- 社内で活用！従業員の家族向けイベントとして開催できる！
- 御社 CSR のこども向けプログラムとして活用できる！
- つきあいのある学校や施設などへプログラムを贈ることができる！

ポイント 3

情報セキュリティ対策万全！

不要 PC は何年前のものでも大丈夫！

「株式会社パシフィックネット」(中古 OA 機器買取および販売) が不要PCの回収・データ消去を万全のセキュリティ体制で行うので安心！リユースできないものは素材としてリサイクル。

○リユース for きっず by BOOK の概要

リユース for きっず by BOOK は、いらぬ本 5 冊以上から寄付することで、子どもたちにプログラムを贈ることができます。電話 1 本でご自宅まで本を回収に伺い、買取金額を全額寄付することができます。

リユース for きっず by BOOK で社会貢献する



リユースパートナー



ポイント
1

5 冊以上あれば、こどもたちへ支援ができる！
寄付いただく本は、こども向けに限らずどんな本でもOK!

ポイント
2

電話 1 本でご自宅まで回収！ DVD でもOK!
寄付できる本 (DVD) が 5 冊以上あれば、ご自宅まで回収！
(株式会社バリューブックス「チャリボン」 TEL : 0120-826-295)

ポイント
3

買取金額は全額寄付！ 寄付金額は 10 日以内にご連絡。
寄付いただいた本の買取金額は、全額寄付金として活用。
寄付金額は集荷後 10 日以内にメールまたは書面にてご連絡。
寄付を受けたこどもたちの様子は当HP(活動実績)でご覧ください!!

○子どもに教育プログラムを贈る

ICT教育



「動物ものまねクイズ！タブレットでクイズ番組をつくろう！」と題して、人とタブレットのコミュニケーションの違いを学ぶ。また、こどもたちが動画・写真を取り合い、個々の“よさ”について発見したりなど、タブレットを通じたから分かる人と ICT のコミュニケーションの取り方を学び、ICT との良い付き合い方について考える機会をつくる。

環境教育



タブレットがパソコンをリユースしてできたものなので、3R (リデュース・リユース・リサイクル) を学び、モノを大切にしていこうの大切さをワークショップを交えながら学ぶ。また、身の回りの環境や自然を感じながらタブレットで撮影。写真や動画でこれまでの振り返りや周りの人に“よさ”を広げる際に使用したりなどプログラムは多彩。

○教育プログラムの講師紹介

豊富な経験・実績のある講師が、子ども向けの環境教育・ICT 教育を担当しています。



一般社団法人森の演出家協会代表
土屋 一昭 (つちや かずあき) 氏

東京都青梅市の御岳にある築150年の古民家を拠点に「森の演出家」の第一人者としての事業を開始。

古き良き日本文化と自然体験をおこなうサービスを提供してきた。自然と共に生きる彼の姿は話題となり、現在はTVや雑誌などのメディア出演や大使館・自治体・学校現場などからの依頼で全国各地を飛び回っている。



俳優・演出家
神山一郎 (かみやま いちろう) 氏

玉川大学文学部芸術学科演劇分野卒業。以降、舞台演出・出演を中心に活動。

俳優のためのワークショップ「演技集団オムニプレゼンス」を8年前より主催。参加メンバーとともに数々の舞台、映像作品を製作し、それらの演出を手掛ける。

社会福祉士の資格を持ち、障がい者、児童、高齢者向けの演技ワークショップも開催。



環境教育指導者・情報教育指導者
松田 悠 (まつだ はるか) 氏

3年間、環境教育NPOで小中学校の環境学習をコーディネートし、企業や専門家と年間100回以上授業を行う。

その後フリーに。現在は「環境」「教育」「地域活性」をテーマに、企業のCSRの環境学習をコーディネートしたり、環境学習教材の制作にも携わる。

工学部を卒業時に情報教育教員免許取得。環境同様に、情報教育の必要性を感じており、学校現場で活躍中。

○教育関係・団体が教育プログラムを受ける方法

私たちは、リユース for きっずの理念に共感いただき、子どもたちへ環境教育やICT教育を積極的かつ持続的に行っていく意志がある教育機関、団体様にできるだけ門戸を広げる形でプログラムを提供したいと考えています。



プログラム提供条件

- ・子どもの心身の健全な発育と、子どもの持つ可能性の伸長を目指して保育や教育に関わる活動を継続的に行っているNPO法人、公益法人、社会福祉法人、株式会社、一般社団法人、学校教育機関であること。
 - ・PC・タブレット等を子どもたちが活用できる環境を有していること。また、提供したリユースタブレット（PC）を継続的に活用する意志があること。
 - ・リユースforキッズの趣旨に賛同し、この活動の広報やいらなくなった本の回収など普及活動に協力する意志があること。
 - ・宗教の布教を主要な目的とした団体ではないこと。また、暴力団等反社会的勢力に所属あるいは関係する団体ではないこと。
- 以上の条件等に基づき、タブレット（PC）及び教育プログラム提供の可否を審査させていただきます。活動報告書の作成のために、写真・動画の撮影にご協力をお願いいたします。
- ※提供決定後に以上の条件を満たすことができなくなった場合などは、提供を取り消すことがあります。